



2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月10日

上場会社名 株式会社Laboro.AI 上場取引所 東
 コード番号 5586 URL https://laboro.ai/
 代表者(役職名) 代表取締役CEO (氏名) 椎橋徹夫
 問合せ先責任者(役職名) 代表取締役COO兼CTO (氏名) 藤原弘将 (TEL) 03-6280-6564
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第1四半期の連結業績(2025年10月1日~2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年9月期第1四半期	630	—	113	—	113	—	88	—
2025年9月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2026年9月期第1四半期 88百万円(—%) 2025年9月期第1四半期 ー百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第1四半期	5.55	5.45
2025年9月期第1四半期	—	—

(注) 2025年9月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2025年9月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年9月期第1四半期	2,896	2,640	91.2
2025年9月期	2,813	2,547	90.6

(参考) 自己資本 2026年9月期第1四半期 2,640百万円 2025年9月期 2,547百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年9月期	—	—	—	—	—
2026年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日~2026年9月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	2,486	30.8	294	53.6	294	76.8	201	36.9	12.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年9月期1Q	15,932,550株	2025年9月期	15,918,577株
② 期末自己株式数	2026年9月期1Q	38株	2025年9月期	38株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年9月期1Q	15,925,228株	2025年9月期1Q	15,892,868株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手について)

当社は、2026年2月13日(金)に機関投資家及びアナリスト向けに開催する予定です。なお、当日使用する決算説明資料は、TDnet及び当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「すべての産業の新たな姿をつくる。」「テクノロジーとビジネスを、つなぐ。」をミッションに掲げ、各業界の代表的な企業との協働を通し、企業や産業、そして社会の長期的・本質的な構造転換に貢献することを目指しております。

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済環境は、景気が緩やかに持ち直されてきている一方で、米国の追加関税の動きや国内外マクロ経済におけるインフレ・金融引き締め、継続的な物価上昇などの結果、金融市場や景気動向は先行き不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループが属するAIソリューション市場においては、「ChatGPT」をはじめとする大規模言語モデルの技術革新の進捗や自律的に業務を遂行するAIエージェントに関する社会的な関心の高まりなどの結果、企業の競争力強化や人材不足への対応から幅広い産業で積極的なDX（デジタルトランスフォーメーション）投資が行われており、事業環境は堅調に推移しております。

なお、当社グループは前第3四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っていません。

(売上高)

売上高の主要な割合を占めるカスタムAIソリューション事業において、堅調な顧客のDX投資需要を捉え、営業活動が順調に進捗し、既存の顧客との継続プロジェクトや新たなプロジェクトの獲得が進捗し、新規顧客獲得件数は3件となりました。また、一部大型の受注済案件において、2025年9月期第4四半期に見積もり時からのプロジェクトの進行計画の変更が発生したことから、一部の収益計上のタイミングが2025年9月期から当第1四半期連結累計期間に後ろ倒れることとなりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、630,091千円となりました。

(売上原価、売上総利益)

売上原価は、202,939千円となりました。主な内訳は、労務費及び業務委託料であります。

以上の結果、売上総利益は427,151千円となりました。

(販売費及び一般管理費、営業利益)

販売費及び一般管理費は313,948千円となりました。これは主に、カスタムAIソリューション事業において、プロジェクトの推進を担うソリューションデザイナー及びエージェントトランスフォーメーションプロデューサー、エンジニアを中心に積極的な採用活動を実施した結果、人件費及び採用研修費が主要な構成を占めております。

加えて、株式会社CAGLAの連結に伴うのれんや顧客関連資産の償却を計上しております。

以上の結果、営業利益は113,203千円となりました。

(営業外損益、経常利益)

営業外収益は455千円、営業外費用は5千円となりました。

以上の結果、経常損益は、113,653千円の利益となりました。

(特別損益、四半期純利益)

当第1四半期連結累計期間における特別損益の計上はありませんでした。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は113,653千円となり、法人税等を25,302千円計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は88,350千円となりました。

セグメント別の業績は以下の通りです。

① カスタムAIソリューション事業

当第1四半期連結累計期間は顧客のDX投資に伴う堅調な事業環境を捉え安定的にプロジェクトが継続・開始し、3件の新規顧客を獲得いたしました。また、一部大型の受注済案件において、2025年9月期第4四半期に見積もり時からのプロジェクトの進行計画の変更が発生したことから、一部の収益計上のタイミングが2025年9月期から当第1四半期連結累計期間に後ろ倒れることとなりました。

また、堅調な市場環境を捉えるべく、積極的な採用活動が進展しました。特にプロジェクトの推進を担うソリューションデザイナーとエージェントトランスフォーメーションプロデューサーの体制拡大が順調に進捗しており、人件費及び採用研修費がコストの主要な構成を占めております。

以上の結果、売上高は615,833千円、セグメント利益は116,805千円となりました。

② システム開発事業

当第1四半期連結累計期間は検収を迎える受注案件が少なかったことから収益貢献は限定的であった一方、当社の受託したAIエージェントの開発案件や自動車関連の案件にて株式会社CAGLAが一部開発を担うなど、協働が進捗いたしました。のれん償却等を計上したことにより、当第1四半期連結累計期間は赤字で着地いたしました。

以上の結果、売上高は18,997千円、セグメント損失は3,901千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、2,896,356千円となり、前連結会計年度末より83,034千円増加しました。流動資産は2,703,404千円となり、固定資産は192,951千円となりました。流動資産の主な内訳は、現金及び預金2,081,501千円、売掛金及び契約資産589,493千円であり、前連結会計年度末からの主な変動要因は、売上増加に伴う現金及び預金と売掛金及び契約資産の増加であります。固定資産の内訳は有形固定資産75,625千円、投資その他の資産50,100千円であり、前連結会計年度末から重要な変動はありません。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、255,482千円となり、前連結会計年度末より9,891千円減少しました。流動負債は255,482千円となり、固定負債の計上はありません。流動負債の主な内訳は、未払法人税等43,862千円であり、前連結会計年度末からの主な変動要因は、その他に含まれている前連結会計年度の確定賞与に係る支払いによる未払費用の減少と、賞与引当金の増加であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、2,640,873千円となり、前連結会計年度末より92,925千円増加しました。主な内訳は、資本金1,016,469千円、資本剰余金1,006,469千円、利益剰余金617,663千円であり、前連結会計年度末からの主な変動要因は、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の業績予想につきましては、2025年11月12日公表の「2025年9月期決算短信」から変更ありません。

なお、当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報と当社が合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる可能性があります。ご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,048,825	2,081,501
売掛金及び契約資産	552,508	589,493
仕掛品	1,905	750
その他	20,422	31,659
流動資産合計	2,623,661	2,703,404
固定資産		
有形固定資産	81,105	75,625
無形固定資産		
のれん	59,400	57,420
その他	10,287	9,805
無形固定資産合計	69,688	67,225
投資その他の資産	38,866	50,100
固定資産合計	189,660	192,951
資産合計	2,813,321	2,896,356
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,067	27,198
1年内返済予定の長期借入金	1,336	837
未払法人税等	66,315	43,862
賞与引当金	1,128	41,319
その他	173,527	142,265
流動負債合計	265,374	255,482
負債合計	265,374	255,482
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,014,181	1,016,469
資本剰余金	1,004,181	1,006,469
利益剰余金	529,312	617,663
自己株式	△45	△45
株主資本合計	2,547,631	2,640,556
新株予約権	316	316
純資産合計	2,547,947	2,640,873
負債純資産合計	2,813,321	2,896,356

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
売上高	630,091
売上原価	202,939
売上総利益	427,151
販売費及び一般管理費	313,948
営業利益	113,203
営業外収益	
受取利息	312
その他	143
営業外収益合計	455
営業外費用	
支払利息	5
営業外費用合計	5
経常利益	113,653
税金等調整前四半期純利益	113,653
法人税、住民税及び事業税	36,809
法人税等調整額	△11,506
法人税等合計	25,302
四半期純利益	88,350
親会社株主に帰属する四半期純利益	88,350

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	88,350
四半期包括利益	88,350
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	88,350

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれん、顧客関連資産を除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額、顧客関連資産の償却額は、次のとおりであります。

	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	10,951千円
のれんの償却額	1,980
顧客関連資産の償却額	372

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	カスタムAIソリューション事業	システム開発事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	615,833	14,257	630,091	—	630,091
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	4,740	4,740	△4,740	—
計	615,833	18,997	634,831	△4,740	630,091
セグメント利益又は損失(△)	116,805	△3,901	112,903	300	113,203

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△4,740千円は、セグメント間取引消去△4,740千円であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額300千円は、セグメント間取引消去300千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。